

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

技術情報第9号

イチゴ苗での炭疽病の発生について

イチゴ苗での炭疽病の発生は、7月5半旬調査では平年並で少ない状況でした。しかし、8月5半旬調査では非常に増加しており、発病苗率5%以上のほ場も見られています。

今後1カ月の気象予報でも、高温・多雨傾向とされており、感染の拡大が懸念されます。罹病苗の早期処分等、防除対策の指導についてよろしく申し上げます。

1 対象作物名：イチゴ

2 病虫害名：炭疽病

3 発生状況

(1) 8月5半旬に巡回調査を行った結果、発病苗率、発生ほ場率とも平年、前年より高かった。(図1)

- ・発病苗率 **1.4%** (平年 0.14%、前年 0.16%)
- ・発生ほ場率 **28.6%** (平年 16.6%、前年 14.3%)

(2) 7月2半旬に県下12か所の育苗床の苗から複葉を採取し、エタノール噴霧法による炭疽病の潜在感染苗調査を行った結果、潜在感染苗率は、前年よりやや低いものの、平年より高かった。(平成29年8月1日付け、29農林試第3173号、技術情報第8号参照。)

- ・潜在感染苗率 **49.1%** (平年 32.7%、前年 57.1%)
- ・潜在感染苗確認ほ場率 **91.7%** (平年 83.0%、前年 100%)

4 防除上注意すべき事項

- (1) 罹病苗とその周辺苗は早めに処分する。
- (2) 夜冷短日処理や低温暗黒処理を行う場合は、必ず健全苗を用いる。
- (3) ビニル及び寒冷紗被覆をしている育苗ほ場では風通しを良くする。
- (4) 窒素肥料を多用すると発病しやすいので、適正な肥培管理に努める。
- (5) 発病後に治療できる薬剤はないことから、感染を防ぐため、葉かぎ作業直後や降雨前後を含めて定期的な予防散布を徹底する。

なお、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

- (6) 定植後の発病株は周囲の土ごと掘り取り、残渣を残さないようにして、ほ場外へ持ち出し処分する。

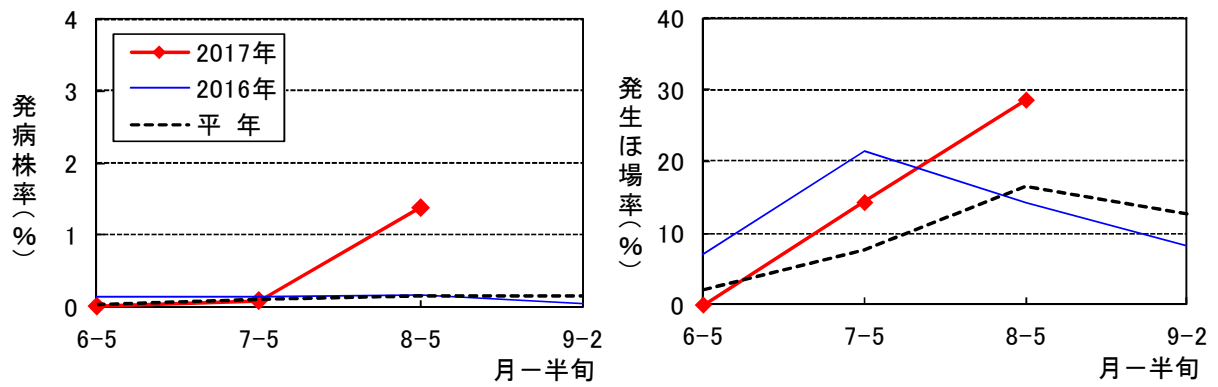


図1 予察調査における炭疽病の発生推移



写真1 炭疽病による葉の汚斑

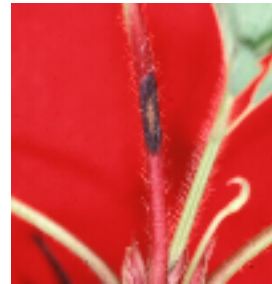


写真2 炭疽病による葉柄の褐変

○病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「福岡県病害虫防除所ホームページ」 <http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>

福岡県病害虫防除所



最新の病害虫発生状況